

## 受験生に使える漢方薬

### 女子の受験生

心配が絶えなくて、緊張が取れない

➡ (67) 女神散 / 1包を屯服  
(しよんじんさん)



### 急におなかが痛くなる

もともと過敏性腸症候群の傾向があり、不意に腹痛が起こる

➡ (68) 芍薬甘草湯 / 1包を屯服  
(しやくやくかんそうとう)



### 神経過敏、怖い夢・追いかける夢を見る

(一見、几帳面で真面目、馬力はある)

➡ (12) 柴胡加竜骨牡蛎湯 / 1回1包 1日2回  
(さいこかりゅうこつほれいとう)



### 朝、鼻水がズルズルする

➡ (1) 葛根湯 / 1包を屯服  
(かつこんとう)



### テスト前から免疫を上げて風邪をひかない

➡ (41) 補中益気湯 / 1回1包 1日2回  
(ほちゅうえつきとう)



### 朝からめまい、頭痛がする

乗り物酔い、嘔吐、下痢にも使えます。

➡ (17) 五苓散 / 1包を屯服  
(ごれいさん)



### 緊張してストレスが多い

➡ (10) 柴胡桂枝湯 / 1回1包 1日2回  
(さいこけいしとう)



## お知らせ

休診のお知らせ 12月14日(水) 都合により休診します

年末年始の診療 12月29日(木) 午前で外来終了  
令和5年1月5日(木) (午前のみ) から  
外来診療を開始します。

## 最近の外来状況

朝夕冷え込んできましたので、咳、鼻汁、咽喉痛のカゼがパラパラと現れています。少しずつ増加傾向です。

発熱している人は、①秋・冬のカゼ(ウイルス性) ②コロナ8回目

③インフルエンザ(来年1月以降に増えてくるか)

④その他のどれかを判断することとなります。

コロナはすでにカゼ程度のウイルス感染症となり、インフルエンザ以下の重症度となっています。

指定感染症2類に指定されているため、コロナと診断されれば、自宅療養を余儀なくせざるを得ません。

やっとな来年には5類に変更となりそうです。

5類になれば、インフルエンザと同等の扱いになりますから、現在行っている自宅療養は無くなり、インフルエンザと同様に解熱するまでの間、安静にしていけば良いことになるでしょう。

冷えの相談が少しずつ増えています。

冷え症の方は、冷える部位によって使う漢方薬が異なります。

腰が冷える、おなかが冷える、手足の先が冷えるなど、人によって冷えて困っている部位が違いますので、合うと思われる漢方薬を試して下さい。冷えてよいことはありません。

冷えを改善することによって、免疫が上がり、人間の活動性も増します。



## オンライン診療

当院では、オンライン診療を行っています。

お手持のPCやスマホなどを使って、患者さんとクリニックをつなぎます。自宅に限らず、会社、出張先、買い物先からでも結構です。

診察後、自宅、会社などの近所の処方箋薬局で薬を手にすることが可能です。医療相談も可能です。

あまりにも急変した症状、新規の症状に関しては来院して診察が必要となります。現在、遠方からも定期的にご利用されている患者さんも増えてきました。一度試してみてください。(詳しくは当院のホームページをご覧ください)

岐阜市の漢方外来 12月10日(土)、24日(土)

時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 12月2日(金)

時間: 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院